

医療提供体制の整備に係る令和3年度予算案の概要

令和3年2月8日社会保障審議会医療部会 資料をもとに作成

I. 地域医療構想の実現に向けた取組の推進

856億円 (882億円)

- 地域医療介護総合確保基金 851億円 (796億円)
- 病床機能再編支援事業 (注) [195億円] (84億円)
- 医療機能の分化・連携に向けた具体的対応方針に対する病院支援事業 1.5億円 (0.9億円)
- 入院・外来機能の分化・連携推進に向けたデータ収集・分析 2.5億円 (0.8億円)
- かかりつけ医機能の強化・活用にかかる調査・普及事業 0.5億円 (-)
- 地域医療構想・医師偏在対策推進支援事業 0.8億円 (0.8億円) 等

II. 医師の地域間・診療科間偏在の解消など医師偏在対策の推進

16億円 (12億円)

- 認定制度を活用した医師少数区域等における勤務の推進事業 4.1億円 (2.0億円)
- 総合診療医の養成支援等 10億円 (9.5億円)
- 医師等の地域偏在・診療科偏在対策に向けた調査 0.3億円 (-) 等

III. 医師・医療従事者の働き方改革の推進

125億円 (122億円)

- 勤務医の労働時間短縮の推進 (注) [95億円] (95億円)
- 働きやすく働きがいのある職場づくりに向けた環境の整備 20億円 (19億円)
- 新たな制度設計等への支援 5.8億円 (4.0億円)
- 組織マネジメント改革の推進等 3.6億円 (3.5億円)

ウィズコロナ時代に対応した医療提供体制の構築

585億円 (589億円)

- 独立行政法人福祉医療機構の医療貸付事業等 ※貸付原資として1.69兆円財政融資
- 遠隔医療設備整備事業 6.0億円 (-)
- 看護職員卒後フォローアップ研修事業 0.3億円 (-)
- 「医療のお仕事Key-Net」等を活用した医療人材の確保 0.7億円 (-)
- 国立国際医療研究センターの体制強化 13億円 (6.3億円)
- ドクターヘリ導入促進事業 75億円 (67億円)
- 災害・救急・周産期医療体制などの推進 490億円 (515億円)

(注) 地域医療介護総合確保基金の内数(病床機能再編支援事業は令和3年度以降、勤務医の労働時間短縮の推進は令和2年度以降)
※金額は令和3年度予算案、()内は令和2年度当初予算額

参考
【令和2年度第三次補正予算案
(医政局)】
1,276億円

- 診療・検査医療機関の感染拡大防止等の支援 212億円
- 医療機関・薬局等の感染拡大防止等の支援 858億円
- 医療機関等情報支援システム(G-MIS)の機能拡充等 15億円
- 遠隔医療設備整備事業 3.7億円
- 看護師等養成所におけるICT等の整備 3.2億円
- 国立病院機構における医療提供体制の整備等 102億円
- 医薬品安定確保のための原薬等設備整備の支援 30億円
- 医療施設の防災対策 16億円 等